



希望記事

● 生命保険・医療保険について
● 節税ができる場合の情報をいくつか取り上げてほしい。医療、住宅ローン控除 等

保険、住宅ローンについては、来年度取り上げる予定です。乞うご期待。

● 「おひとりさま」の老後、遺産などについて。親族がいない場合、どのようなことを考えておいたらよいのかなど。

当協会では「くらしを豊かにするハンドブック・シングルのライフプラン編」を刊行しています。ご希望の場合、ご一報ください。

● 「笑いと免疫力」の著者・吉野槇一氏の研究で、自己免疫疾患が笑いや涙や深呼吸で改善されるというものがあります。健康な人にとっても笑い、涙、深呼吸が気分の切り替えスイッチとして大事な役目をするものです。「笑い」で幸せを、健康を取り込む。記事として一つのテーマになるように思いました。

健康に関する切り口の一つとして検討してみます。

● 転職した公務員の活躍事例。地方公務員を取り巻く環境は年々厳しくなっています。退職金の減額、50歳代の昇級停止、福利厚生制度の見直し等。私の周辺も、早期退職や転職する先輩が以前に比べて多くなってきました。充実した人生を送る上で、新たなライフプランを立てる上で、転職した先輩の活躍事例が紹介されれば、参考になると思います。

● 給与・福利厚生等、公務員を取り巻く環境が厳しい中、早期退職あるいは転職する方も見受けられます。こうした方々の動機や現状、生活設計等を紹介するコーナーがあれば参考になると思います（決して転職派ではありませんが）。

今号のCareerとPersonもぜひご参考ください。

● 将来年金生活になることを考えると、太陽光発電を設置して生活している人などの収入や支出が気になります。実際に設置した人の体験談などを記事にしていたけると興味深く読めると思います。

● 再生可能エネルギーの普及と日常生活との関わりについて、取り組み事例等の紹介など。

ご登場いただける方を探すが難しいですが、一度掲載を検討してみたいと思います。

● 女性の病気、更年期について

男性の更年期も含めて掲載を考えてみます。

その他ご意見

● 退職後、家族とはなれ単身郷里へ帰り、高齢の両親（共に92歳）の生活支援を行っていますが、食事の世話から掃除洗濯と大変なものがあります。でも、島田良夫さんの「妻の介護」を読んで大変元氣をもらいました。母が多少認知症の兆候がありますが、なんとか自立できている両親に感謝です。

記事が少しでもお役に立てれば幸いです。

● Usefulie 森田裕子さんの記事がとっても新鮮な感じで拝読しました。一つの経験、感動が次の考えや行動を動かし移っていく、素の森田さんの姿が伝わってきました。

森田さんの姿勢は公務員にも通じるように思いました。

●自分がいなくなった後の相続における親族間の争いを避ける「Topics」の記事がとてよかったです。将来だけでなく、死後においても精神的に安らかになる意味で。

今号掲載の「相続税について②」「もぜひ」一読ください。

●Health「心療内科とは何をすることころ？」を拝見し、これまで心療内科は比較的内りやすい精神科とまさに誤解しておりましたので、認識が一新されました。患者側もやみくもに最寄の病院に駆け込むのをやめて症状を整理して適切な診療科選びを心がけることで、医療費の削減にもなりますし時間や心理的負担の軽減にもつながると感じました。

世の中、誤解されていることが結構多いのかもしれないですね。

●Person「シリーズ連載…地方公務員」の風を起すの、高野さんの思考・行動力には非常に感銘を受けました。全国各地で、高野さんのように活躍されている公務員の方がいらっしやると感じますので、今後もこの連載に期待しております。

●高野さんは我々公務員の誇りです。とてつもない才能をお持ちだろうと思いますが、地域興しは私が公務員となる原点の一つでした。これからも精一杯微力を尽くしていきたいと思えます。

地域を良くしたいという思いを、伝えていければと思います。

●Coverageの記事で「心のよりどころや人とのつながりがないと人は生きていられない」という社会福祉先進国の話に、はっとさせられました。仕事でも「役立たず」と思われていると、働き甲斐がなく、生きている意味まで考えてしまいますよね。幸せってなんだろう、とずっと悩み続けてきたように思います。この歳になって実感できるようになったかな…今回の皆さんの声をみて、同じなんだなあ、としみじみしました。

社会が厳しさを増す中で、少しでも幸福感をふやせるよう、一人一人の心がけも必要なのかもしれません。

●読者の文芸投書や情報・意見交換など「一方的」でない記事があった方が親近感が湧くと思います。

当コーナーがその役割を少しでも担えれば、と考えています。

●ALPSの内容は、読者からの意見がとも反映されているように思えます。あらゆる年代の人に興味を持ってもらえるように、色々な角度からテーマを選ばれているように感じました。もっといろんな人に読んでもらえるといいですね。

●ALPSを購読し始めてから、今年で7年になります。読者のニーズをつかみながら編集されており、以前から見ると記事の構成や内容に工夫がみられていると思います。その時々々のタイムリーな内容を掲載していると感心しております。フィッシングしておきたい記事もあります。今後も楽しみにしております。

●愛読いただき、ありがとうございます。皆様のご支援を励みに、今年も良い記事をお届けできるよう努めてまいります。

通信員からの評価が高かった記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をいただいています。ここでは「とても良かった」「良かった」の評価が多かった記事をベスト3までご紹介します。

- 1位…Coverage
幸福度指数とライフプラン—「健康」と「お金」のほかに備えておきたいこと—
- 2位…Family
シリーズ「家族」を見つめ直す②
『妻の介護—男性が介護と向き合う時』
島田良夫
- 3位…Health
がん発生のメカニズムと自己免疫
安保徹